

東海カード会員だより

2020年9月20日発行

東海大学新聞掲載記事 (2020.8.1号)

記念文集で思いを残す 中止の第51回海外研修航海

学校法人東海大学第51回海外研修航海の研修団が記念文集を制作。海外研修航海実行委員会委員長を務める山田清志学長への贈呈式が、7月21日に湘南校舎で行われた。

海外研修航海は、学園の海洋調査研修船「望星丸」(国際総トン数=2174トン)で世界各地を巡る学校法人東海大学独自の教育プログラムの一つ。第51回は今年2月20日からマレーシアやタイなどのアジア諸国を訪問する38日間の航海を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて中止に。解団式を開くことも難しい状況のため、総括として団役員15人と研修学生89人の寄稿をまとめた文集が制作された。

贈呈式には、山田清志学長と実行委員会副委員長の吉川直人副学長(国際担当)、研修団団長の立原繁教授(観光学部)副団長の吉原さちえ准教授(体育学部)らが出席した。立原教授は、「中止が決まった後も地上研修などほかの形を模索したものの、それもかなわず解団式も行えなかったため、記念文集の制作をもって総括としました」と話し、山田学長に記念文集を手渡した。山田学長は、「中止という残念な結果になってしまいましたが、第51回研修団は確かに存在していた。この文集が成果として手元に残ったことは素晴らしい実績だと思います」と語った。

文集には、研修団の教職員から参加を予定していた学生たちへのメッセージが寄せられたほか、学生たちによる事前研修の思い出などの寄稿文を掲載。今後、事務局からそれぞれの自宅に郵送される。

【付属図書館】電子書籍閲覧サービスが充実 学生の学びをサポート

さまざまな専門分野の電子書籍を自由に閲覧できる付属図書館のサービスが、6月18日から拡充された。東海大学全体で5月11日から遠隔授業がスタートしたことを受け、自宅などでの学習・研究をサポートすることが目的。今回導入されたのは丸善雄松堂株式会社の「Maruzen eBook Library」で、教員が推薦した各分野の基礎的・入門的な図書約1550タイトルと、岩波書店発行の「岩波新書」「岩波現代文庫」など500タイトルが閲覧できる。

中嶋卓雄館長(学長補佐)は、「人文社会学から理工系、生物学など幅広い分野の基礎文献や教養を高めるために役立つ書籍が充実しています。サービス開始以来7月上旬までの半月で1800件の利用があるなど、すでに多くの学生・教職員から活用されています。知的関心を広げ、知識を深めるツールとして活用してほしい」と話す。

利用できるのは東海大の学生と教職員で、IDとパスワードを入力すれば、どこからでも閲覧できる。著作権の範囲内でダウンロードや印刷できるコンテンツもあるほか、書籍の各ページには固有のURLが設定されており、授業の参考文献として一部を共有するといった使い方も可能だ。

ほかにも、世界各国で刊行されている学術雑誌や、国内外で発行されている主要新聞・雑誌類の記事、「世界大百科事典」「新英和大辞典」といった辞書類、さまざまな情報を検索・閲覧できる「電子ジャーナル」と「データベースサービス」も提供されている。利用にあたっては同館のホームページ

(<https://library.time.u-tokai.ac.jp/>)を参照。

(裏面へ続く)

遠隔授業のノウハウを共有 オンライン学習環境検討WG

東海大学の教員によるオンライン学習環境検討ワーキンググループ(WG)が、6月27日に「遠隔授業2020年度春期折返しワークショップ」をオンライン上で開いた。

東海大では5月11日から遠隔授業が始まり、WEBビデオ会議システム「Zoom」やグループウェア「Teams」などを用いた授業も開講されている。同WGは、遠隔授業の情報交換を目的に理学部の山本義郎教授ら教員有志が、Teams上に作成したもので、全校舎の教員約150人が参加している。今回のワークショップは、春学期の授業が約半分経過したタイミングで明らかになった課題や情報を共有するために初めて開催。約40人の教員が参加した。

まず、情報理工学部の内田理教授や教育開発研究センターの園田由紀子講師ら9人の教員が話題提供者として、さまざまな授業のノウハウを紹介。実際に使用して有効だと感じたアプリの機能や学生への授業アンケートの結果などが報告された。

続いて、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使いグループディスカッションを実施。「Teamsなどを通じていつでも連絡がとれるようになったので、初回の授業で問い合わせ時間などルールをつくるべき」「オンラインは場所を問わないため、他校舎の授業も履修できることが大きなメリット。収束後も対面式の授業と併用することで学びの可能性が広がる」など、活発に意見が交わされた。

東海カード提携協力店募集のお知らせ

東海カードでご利用頂ける独自の協力店は、会員の皆様のご協力により全国の店舗・施設でご利用いただけます。

東海カードをより価値あるものにするために、引き続き皆様に協力店の募集をお願いしております。詳細は同窓会事務局までご連絡をお願いします。

東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365システムによる生涯メールアドレスの利用
(tokai-u.jpのドメイン) 詳細は以下URLをご覧ください。
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

インターネットホームページについて

URL : <http://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

校友会・後援会・同窓会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお願いいたします。

東海大学校友会(校友会・白鷺会・同窓会)事務局

学校法人東海大学理事長室学園校友課

〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL 03-3467-2211 (代表)

E-mail koyukai@tokai.ac.jp

東海大学事務部事務課(後援会担当)

〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211 (代表)

E-Mail koyu@tsc.u-tokai.ac.jp